

2011年度～2013年度 科学研究費基盤研究 (c) 研究課題番号：23531069
研究課題名「学校管理職養成の「費用対効果」研究—韓国校長資格研修をてがかりに—」
(研究代表者 九州大学大学院教授 元兼正浩)

科学研究費研究成果中間報告書

－教育行政の費用効果分析の可能性及び「校長の専門職基準」の再検討－

序

元兼 正浩 (1)

第Ⅰ部 「校長の専門職基準（2009年版一部修正）」の到達点の検討

| | |
|---|------------|
| 第1章 「校長の専門職基準（2009年版一部修正）」の批判的検討 | |
| 第1節 校長の専門職基準1 「学校の共有ビジョンの形成と具現化」の批判的検討 | 日高 和美 (5) |
| 第2節 校長の専門職基準2 「教育活動の質を高めるための協力体制と風土づくり」の批判的検討 | 楊 川 (7) |
| 第3節 校長の専門職基準3 「教職員の職能開発を支える協力体制と風土づくり」の批判的検討 | 門 悟 (10) |
| 第4節 校長の専門職基準4 「諸資源の効果的な活用と危機管理」の批判的検討 | 金子 研太 (13) |
| 第5節 校長の専門職基準5 「家庭・地域社会との協働・連携」の批判的検討 | 梶原 健二 (15) |
| 第6節 校長の専門職基準6 「倫理規範とリーダーシップ」の批判的検討 | 畠中 大路 (17) |
| 第7節 校長の専門職基準7 「学校をとりまく社会的・文化的要因の理解」の批判的検討 | 波多江俊介 (20) |
| 第2章 ケースメソッド事例 | (23) |
| 附録 基準の検討ポイント | (37) |

第Ⅱ部 教育行政における費用効果分析の可能性—試論的考察—

| | |
|---|------------|
| 第1章 費用効果分析の可能性を探る | 元兼 正浩 (71) |
| 第2章 教育委員会施策の広報効果に関する費用効果分析 —「エデュケーションかすが」を事例として—《費用効果分析事例①》 | 金子 研太 (74) |
| 第3章 学校給食運営方式に伴う費用効果分析への試み —先行研究より分析枠組みの探索—《費用効果分析事例②》 | 梁 鎬錫 (81) |
| 第4章 費用効果の視点からみる学校司書配置 —分析方法の検討—《費用便益分析事例》 | 畠中 大路 (87) |
| 第5章 費用効用分析 (Cost Utility Analysis) を用いた社会教育 (アウトリーチ) 事業評価の可能性《費用効用分析事例①》 | 梶原 健二 (93) |
| 第6章 不登校対策支援施策の検討—費用効用分析の視点から—《費用効用分析事例②》 | 波多江俊介 (99) |

第Ⅲ部 韓国校長資格研修の現状（2012年度）

| | |
|-----------------------|-------|
| A調査：教育科学技術部教員政策課面談内容 | (106) |
| B調査：聖水中学校教頭面談内容 | (115) |
| C調査：建大附属中学校校長面談内容 | (123) |
| D調査：ソウル教育大学教育研修院長面談内容 | (129) |
| E調査：ソウル市教育庁企画調整室長面談内容 | (135) |

九州大学大学院 人間環境学研究院（教育学部門）

教育法制論研究室

2013年5月